

統計研修講義計画書

研修課程	本科（総合課程）	講義科目	標本調査法	講義時間	12コマ
講 師	総務省 統計研究研修所 統計技術向上支援課 服部 雄太				

※1コマ70分

講義のねらい

本科目は、公的統計調査、アンケート、インタビュー等の「合理的な調査設計」及び「集計結果・定量分析結果の精度解釈」の基礎となる、標本理論を中心とした統計的知識の習得を目指す。その上で、調査という手段で得られる又は得られた数値の「意味は何か」という問いに一定の答えを出せるようになることを目標とする。

また、統計理論に加え、標本調査に必ず付随する「データの収集と取扱い」の観点から、マイクロデータ（個票データ）及び統計的開示抑制についても発展的な内容として触れる。

指導項目と内容

指 導 項 目	内 容
<p>本科目は以下の4部構成及び試験(問題解説を含む)で構成する。</p> <p>1. 母集団と標本</p> <p>2. 標本設計</p> <p>3. 標本抽出法</p> <p>4. 実例の紹介と発展的内容</p> <p>5. 試験と解説</p> <p>試験には電卓及び関数電卓の持ち込みを許可する。 ※通信機能又は文字記録機能を持つ電卓の使用は認めない。</p>	<p>1. 母集団と標本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概論 ・ 統計的推測の復習 ・ 母集団と標本 <p>2. 標本設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査対象の設定と制約条件 ・ サンプルサイズの求め方 <p>3. 標本抽出法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単純無作為抽出とバイアス ・ 各種標本抽出法の紹介と選び方 ・ バイアスと誤差のコントロール <p>4. 実例の紹介と発展的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働力調査（世帯）と毎月勤労統計（事業所） ・ ミクロデータ ・ 統計的開示抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全数調査と標本調査 ・ 偏りと散らばり ・ 母数と推定量 ・ 精度設計 ・ 誤差の推定 ・ 標本抽出と乗率

講義形態 指導方法

講義は、パワーポイント資料等を用いて適宜質問を交えながら進める。到達度確認と復習のため、講義終了時に練習問題を課す（提出不要）。

受講に必要な 基礎知識等

記述統計学・統計的推測の基礎（用語の指す概念が説明できる程度の知識）